

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業
第3期中期計画フォローアップ（令和3年度実績）
【RISTEX】

1. 令和3年度における活動の概要

（総括）

客観的根拠に基づく科学技術・イノベーション政策の形成に寄与するため、政策ニーズを踏まえつつ、政策の形成や改善に将来的につながり得る基盤的な成果の創出を目指した研究開発を公募により推進した。また、採択中の研究課題についてのマネジメントを実施するとともに、終了プロジェクトの終了評価を行った。

（1）公募

（活動の概要）

前年度中に企画・設定した課題（通常枠・共進化枠）をもとに、R3年度公募を行った。

（R3年度公募における採択件数）

【通常枠】 4件（応募件数：18件）

【共進化枠】 3件（応募件数：6件）

採択課題一覧

【通常枠】

課題名	研究代表者
幼児教育の「質」が子供の学力や非認知能力に与える効果の検証	中室 牧子 (慶應義塾大学 教授)
木質バイオマス熱エネルギーと地域通貨の活用による環境循環と社会共生に向けた政策提案	豊田 知世 (島根県立大学 准教授)
デジタルツイン都市を活用した危機管理下での政策決定支援	佐々木 邦明 (早稲田大学 教授)
感染症対策と経済活動に関する統合的分析	仲田 泰祐 (東京大学 准教授)

【共進化枠】

課題名	研究代表者
ライフサイエンスにおける誠実さの概念を共有するための指針の構築	田中 智之 (京都薬科大学 教授)
研究分野の多様性を踏まえた研究公正規範の明確化と共有	中村 征樹 (大阪大学 教授)
大学発シーズの上市に関わる価値連鎖診断プロトコルの開発と実装	坂井 貴行 (神戸大学 教授)

(2) マネジメント

(活動の概要)

採択している研究課題について、ハンズオンマネジメントを通じて、研究開発期間内に創出された科学的知見（エビデンス）が政策に反映されるよう効果的に研究開発を推進した。

(R3 年度中のマネジメント対象プロジェクト数)

23 件 : H29 採択 2 件、H30 採択 1 件、R1 採択 5 件、R2 採択 5 件、R3 採択 7 件

総括による面談実施回数 18 回

アドバイザーによるサイトビジット実施回数 53 回

(プロジェクト全体のマネジメント事例)

①プロジェクト間連携

複数プロジェクトのシナジー効果による、プログラムとしての研究開発成果の最大化を目指し、「プロジェクト間連携促進イニシアティブ」として複数プロジェクトが連携した活動を募集。希望するプロジェクトに対して、審査の上、追加的な予算措置を講ずる取り組みを推進した。

上道 PJ-伊藤 PJ（災害拠点病院の整備と地域における医療提供の適正化に関するさらなる検討）、伊藤 PJ-阿部 PJ（合同シンポジウムの成果発信）、香坂 PJ-乃田 PJ（共同ワークショップ、共同オンライン調査等）の 3 件を実施。

②プログラムサロン

プロジェクト間、またプロジェクト-アドバイザー・SciREX センター間の交流や連携の機会を促すことや、SciREX 事業の一環としての本プログラム趣旨への理解を深めること等を目的にプログラムサロンを実施。オンラインホワイトボードツール miro を用いたワークを通して各プロジェクトの目標やリソースを共有し、2022 年度以降のプロジェクト間連携に向けた構想の検討を行った。

開催日時：2022 年 2 月 21 日（月）9:30-17:30

開催形態：オンライン開催

参加者 : 令和元年度以降採択の 17 プロジェクト関係者 17 名

プログラム総括・アドバイザー・プログラム推進委員 12 名

SciREX センター関係者 3 名

(3) 終了評価

(活動の概要)

R3 年度中に終了するプロジェクトの終了評価を実施した。

(実施状況)

6 件のプロジェクトについて終了評価を実施した。評価結果については RISTEX ウェブサ

イトにて公開予定。

対象プロジェクト

課題名	研究代表者
レジリエンス強化のための省エネルギー機器導入制度設計	上道 茜 (早稲田大学 准教授)
先端医療のレギュレーションのためのメタシステムアプローチ	加納 信吾 (東京大学 教授)
子どもの貧困対策のための自治体調査オープンデータ化手法の研究	阿部 彩 (東京都立大学 教授)
病床の減床と都市空間の再編による健康イノベーション	伊藤 由希子 (津田塾大学 教授)
医学・医療のための ICT を用いたエビデンス創出コモンズの形成と政策への応用	加藤 和人 (大阪大学 教授)
家族を支援し少子化に対応する社会システム構築のための行動科学的根拠に基づく政策提言	黒田 公美 (理化学研究所 チームリーダー)

(4) 広報・成果発信

(活動の概要)

推進中および終了したプロジェクトのうち、特に著しい成果のあったプロジェクトを対象に「POLICY DOOR」における記事作成やセミナーの開催を通じた成果の発信を行った。

(実施状況)

①POLICY DOOR 記事公開数 : 4 件

「子どもの貧困をなくすために 深い分析でオープンデータをエビデンスに変える」

公開 URL : <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/policy-door/article-09.html>

「『人口半減社会』に求められる病院とは？ コロナ禍で背中を押される再編と体質改善」

公開 URL : <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/policy-door/article-10.html>

「ビッグデータで橋や道路の補修・更新時期を予測 統計的劣化予測モデルがひらくインフラ大延命時代」

公開 URL : <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/policy-door/article-11.html>

「【インタビュー】専門性の川を越えて プロジェクト間連携の試み」

公開 URL : <https://www.jst.go.jp/ristex/stipolicy/policy-door/interview-05.html>

②共進化セミナー「研究公正とガバナンスのありかたを問う」を開催

開催日時：2022年1月24日（月）13:30-16:00

開催形態：Zoom ウェビナー

登壇者：山縣 然太朗

（プログラム総括／山梨大学大学院総合研究部医学域社会学講座 教授）

小林 英夫

（文部科学省科学技術・学術政策局研究環境課研究公正推進室長）

高柳 元雄

（国立研究開発法人科学技術振興機構 監査・法務部研究公正課 課長代理）

上垣内 茂樹

（一般財団法人公正研究推進協会 事務局長）

飯室 聡

（国際医療福祉大学未来研究支援センター 教授）

中村 征樹

（大阪大学全学教育推進機構 教授）

田中 智之

（京都薬科大学病態薬科学系 教授）

発表、ディスカッションの様子はJSTチャンネル（Youtube）にてアーカイブ公開

https://www.youtube.com/results?search_query=%EF%BC%83%E7%AC%AC1%E5%9B%9E%E5%85%B1%E9%80%B2%E5%8C%96%E3%82%BB%E3%83%9F%E3%83%8A%E3%83%BC

（5）その他特記事項

SciREX センターとの協力

①第39回 SciREX セミナー

「データから子どもの貧困へ向き合う『子供の貧困調査コンソーシアム』の試み」としてJST-RISTEX 採択プロジェクトから登壇。研究代表者等からの研究報告およびパネルディスカッションを実施。

開催日時：2021年12月20日（月）18:30-20:00

開催形態：Zoom ウェビナー

スピーカー：阿部 彩（東京都立大学人文社会学部人間社会学科教授
兼 子ども・若者貧困研究センター長）

川口 遼（東京都立大学子ども・若者貧困研究センター特任助教）

モデレーター：黒河 昭雄（JST-RISTEX 研究推進委員）

②SciREX サマーキャンプ

「アフターコロナ時代の研究者による政策への関与のあり方」として、JST-RISTEX における研究開発プロジェクト（過年度を含む）の取り組みを事例研究の対象に用い、アフターコロナ時代の研究者による政策への関与のあり方および科学的助言のあり方について提言を作成するグループワークを実施。

開催日程：2021年9月3日(金)～5日(日)

招聘講師：横山 広美

(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 教授)

八代 嘉美

(神奈川県立保健福祉大学 イノベーション政策研究センター 教授)

ファシリテーター：黒河 昭雄 (JST-RISTEX 研究推進委員)

2. 事業終了を見据えた計画に対する進捗状況

該当なし

3. 中期計画の見直しのポイント

該当なし

以上